

エルサルバドル政治経済月報

(2019年1月分)

2019年2月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

内政

1. 大統領候補による公開討論会

13日，エルサルバドル放送協会（Asder）主催の大統領候補公開討論会が開催された。国民統合のための大連合（GANA）のブケレ候補は，12月に国立エルサルバドル大学（UES）が主催した公開討論会に続いて，欠席した。

外交

1. サンチェス・セレン大統領のベネズエラ大統領就任式出席

10日，サンチェス・セレン大統領は，マドゥーロ・ベネズエラ大統領就任式に出席した。

2. ベネズエラ情勢に対する各反応

23日，国会はマドゥーロ・ベネズエラ大統領を承認しない旨の宣言を賛成47票（全84議席）で可決した。これに関連し，最大野党国民共和党（ARENA）のカジェハ大統領候補は，グアイド・ベネズエラ暫定大統領を支持する旨表明し，GANAのブケレ大統領候補は，マドゥーロ大統領を独裁者と批判するツイッターのメッセージを発出した。

翌24日，大統領府はマドゥーロ・ベネズエラ大統領に対するサンチェス・セレン大統領の支持を表明するプレスリリースを発出した。

経済

1. 中国関連

8日、米国政府内にエルサルバドル、ドミニカ共和国、ニカラグアとのDR-CAFTA（FTA）を見直す動きがあると米国紙が報道。報道では、その理由として、エルサルバドル及びドミニカ共和国は中国との不透明な接近が指摘された。

上記を受け、当地輸出業者協会や全国民間企業連盟代表は、本件が事実の場合、総輸出の40%以上に損害を与えるととして、中国との関係に透明性を持つように政府に警鐘を鳴らした。

当国経済省は、本件について、米国政府から何ら連絡通告は無く、正式発表ではない旨のプレスリリースを発出。

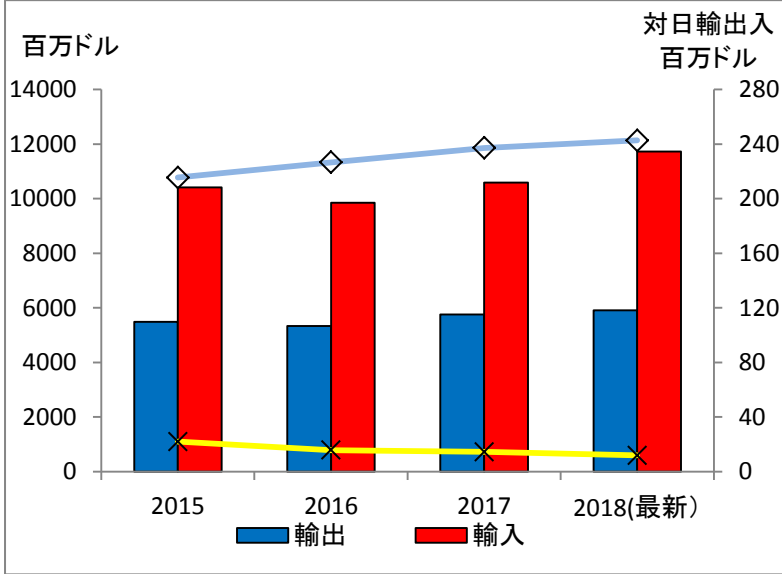
22日、水産漁業の専門家で構成される中国農業農村部の公式ミッションの当国訪問が終了した。オルテス農牧大臣によれば、今次第一回目の訪問は今後の水産漁業の分野における協力を特定するために行われ、2019年第1四半期までに支援が具体化されることを期待している旨述べた。なお、報道では、農牧省関係者による、本件が中国による初めての無償資金・技術協力支援になるとのコメントを掲載。

2. 2018年家族送金総額

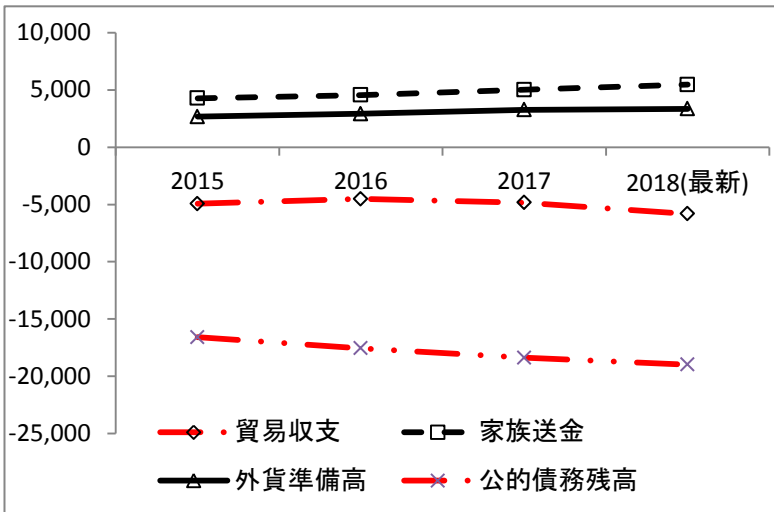
中銀は2018年の家族送金の総額が前年比で8.4%増加し、54億6,870万ドルに達し、過去最高額となった旨発表した。

3. 世銀による2019年経済成長見通し

世銀が公表した「2019年世界経済成長見通し」レポートによれば、2019年のエルサルバドルの経済成長率は2.5%になる見込みである。

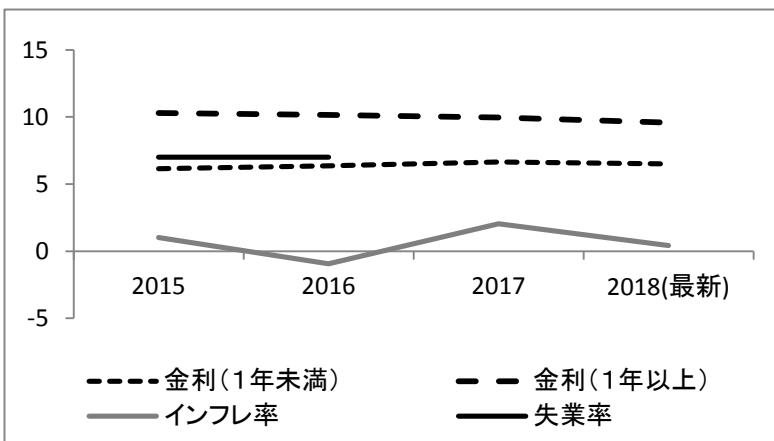


・2018年の輸出額は59億447万ドルとなり、前年比で2.5%増加した。輸入額は117億2580万ドルとなり、前年比で8.7%増加。



・2018年家族送金額は54億8,210万ドルとなり、過去最高額を記録。その内、米国からの送金は全体の93%を占めていた。

・貿易収支は-58億2,134万ドルとなり、貿易赤字は前年比で20.5%増加した。



2018年のインフレ率は0.43%となり、前年と比較し、1.61ポイント減少した。

治安

【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、1月の殺人件数は285件となり、昨年同時期と比べると約11%減少（2018年同時期よりも38件減）。ただし、当国では大統領選挙（2月3日実施）を前に、警察官や軍人、刑務所の看守等を狙った殺人事件が多発したことから、大統領選挙が終了したあとも、マラスが政府に対して圧力を掛ける続ける可能性があり、引き続き、治安情勢を注視していく必要がある。

2. 1月9日付、当地主要紙の報道によると、2018年において行方不明者数が殺人件数を上回り、殺人件数3,340件、行方不明者数3,500人以上となっている。殺人件数自体は減少傾向にあるものの、報道にもあるとおり、連日、行方不明者の遺体が白骨化した状態で土の中から発見されており、当国の行方不明事案は殺人等の事件性が少なからずあるため、必ずしも治安が改善されているとは言えない状態である。今後も治安情勢を注視していく必要がある。

3. 1月17日付、当地主要紙の報道によると、武装した犯罪グループが公共路線バスに乗り込み、乗客の所持品を強奪していたところ、乗客のうちの1名（男性）が抵抗したことから、犯罪グループが乗客に対して発砲し、男性1名死亡、女性2名が負傷する事件が発生した。公共路線バス内では窃盗や強盗被害が多く発生しており、直接的な犯罪被害のターゲットにならずとも、犯罪被害に巻き込まれる可能性が十分あるため、移動の際は、公共路線バスの利用は避け、ラジオタクシー又は自家用車を利用する等、注意する必要がある。また、万が一、被害に遭った際は、人命を第一とし、絶対に抵抗はしない。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 1月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は1件。1月1日午前6時30分頃、サンサルバドル市サンベニート地区 La Reforma 通り沿いの路肩（ディスコ等の飲み屋街付近）にて、銃撃により男女2名が殺害される事件が発生。治安当局によると、殺害された男女2名は、ディスコ内にて麻薬売買に関するトラブルを起こし、自車に戻ったところを、麻薬売買業者に殺害されたとのこと。また、後日、首謀者は治安当局によって逮捕された。

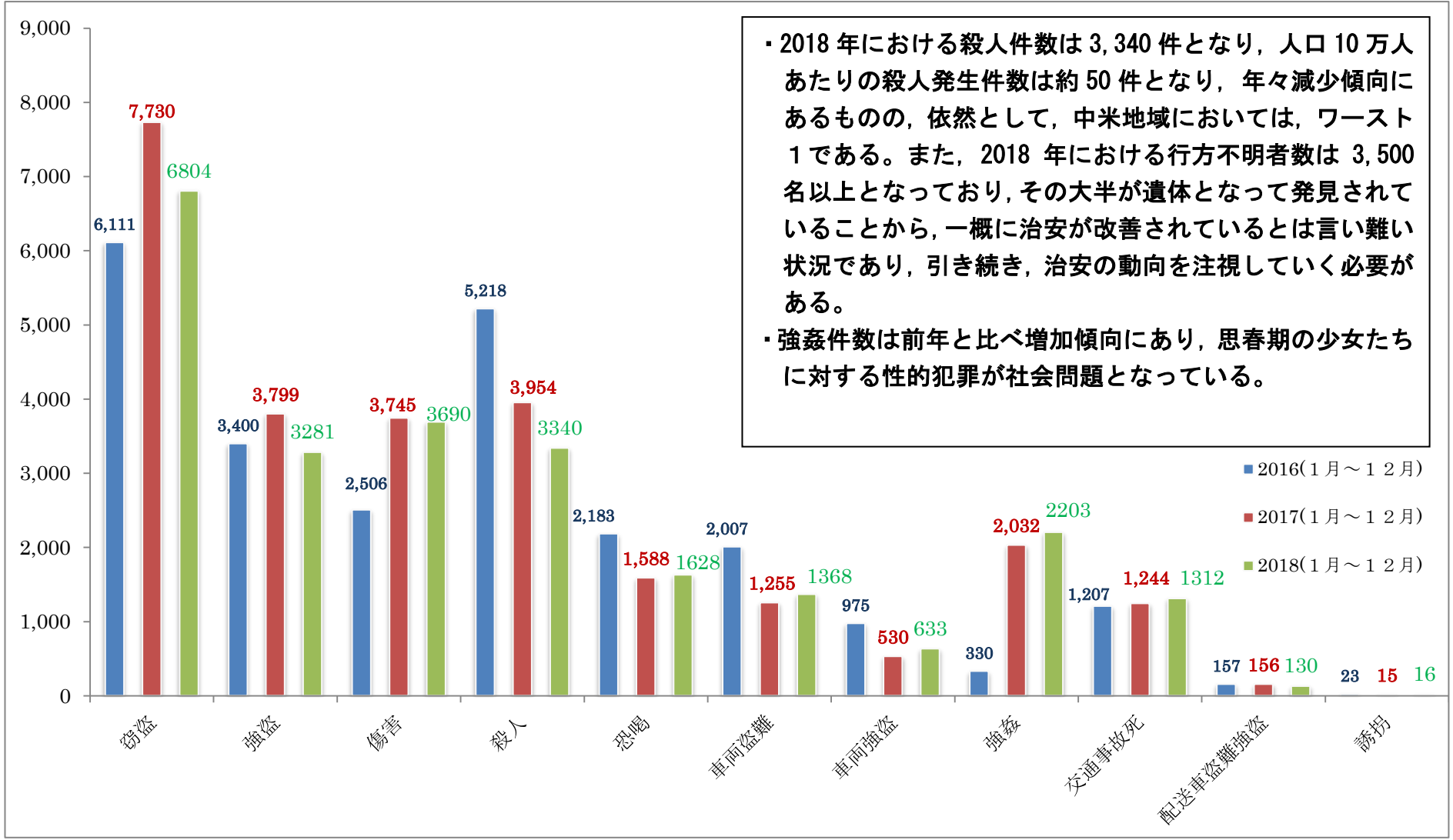
【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパング湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計
主要 11 犯罪（12 月）過去 2 年との同時期の比較



- ・ 2018 年における殺人件数は 3,340 件となり、人口 10 万人あたりの殺人発生件数は約 50 件となり、年々減少傾向にあるものの、依然として、中米地域においては、ワースト 1 である。また、2018 年における行方不明者数は 3,500 名以上となっており、その大半が遺体となって発見されていることから、一概に治安が改善されているとは言い難い状況であり、引き続き、治安の動向を注視していく必要がある。
- ・ 強姦件数は前年と比べ増加傾向にあり、思春期の少女たちに対する性的犯罪が社会問題となっている。

主な大使面談来館者

1月8日 JICA ボランティア：帰国挨拶

1月17日 Roshchildグループ代表、NYC NGO 在日本人美容師：表敬挨拶

1月17日 日エ友好議員連盟メンバー：情報交換

1月26日 在留邦人：新年懇親会

1月29日 Rescate Internacional：打合せ

1月30日 JICA ボランティア2名：着任挨拶

(大使の外出打合せ・訪問件数：21件)